

防災（人材育成・研究）（地域防災力の向上をめざして）

ヒアリング結果

【みえ防災・減災センター】

- 三重県と三重大学が共同で設置したセンター。災害に対応できる人材育成、地域・企業支援、情報収集、調査・研究等を行っている。
- 大台ヶ原から尾鷲にかけては、全国屈指の多雨地帯で、三重県は雨には比較的強い県。
- **最近は、過去に大雨が降ったことのない地域にも大雨が降るようになって、それが災害につながっている。**



右上：人材育成（みえ防災塾）

右下：修了生の活動
（防災訓練での啓発）、
伊勢湾台風60年講演会

midimic
mie disaster mitigation center



防災（自主防災組織）（防災も温暖化も、意識が変われば行動は変わる）

ヒアリング結果

【津市自主防災協議会】

- 被災時に備えて、QRコード化した個人情報（住所、氏名、生年月日、血液型等）を住民一人ひとりが携帯する取組を試行している。
- 行政は温暖化に対応したインフラ整備を進めているが、それだけでは不十分。
- **温暖化を自分事として捉えるような啓発が重要。個人の意識が変われば行動が変わる。**



愛あい防災カード
（QRコードで受付すれば、避難所への入所が、円滑になる）



防災（ボランティア）（災害支援の現場から見てくるもの）

ヒアリング結果

【みえ災害ボランティア支援センター】

- **内水氾濫**が目立つようになっている。
地域毎の事情を反映したインフラ整備が必要。
- **2004年**に全国で大規模水害が多発して以降、
水害時のボランティア活動が確立した。
- ボランティアに参加することで、**自分の住む地域を被災する場所として見られるようになる**。
- 被災前に戻す「復旧」ではなく、大災害に備えて、
よりコンパクトで災害に強い地域として再建する
ための「復興」計画が必要。



右上：家に流入した土砂の搬出作業

右下：被災地へ出発するボランティアの皆さん